

ぼたもち

「ぼたもち」と「おはぎ」の関係[編集]

ぼたもち（牡丹餅）とおはぎ（御萩）の関係については諸説ある。

語源については、それぞれ、「ぼたもち」については牡丹の花に似せてこれを見立てたものであるとする説があり、「おはぎ」については萩の花が咲き乱れている様子に見立てたものであるとする説がある。その上で春のものは「ぼたもち」、秋のものは「おはぎ」と名前が異なっているだけであるとする説がある。

なお、東京では春秋ともに「おはぎ」と呼んでいたとの指摘がある。

もち米を主とするものが「ぼたもち」、うるち米を主とするものが「おはぎ」であるとする説。

あん（小豆餡）を用いたものが「ぼたもち」、きな粉を用いたものが「おはぎ」であるとする説。

その他の説 「ぼたもち」は、ぼたぼたした感じに由来するという説。

『物類称呼』（1775年）では「おはぎ」は「女の詞」であるとする。

Wikipedia より転載